

# Design for Care

## 創造性のために必要なケアの視点

「ケアとは、そのモノがそのモノであろうとする力をサポートすること」

北欧で福祉の文化を体験した宮田尚幸さんは、そう語ります。

障がいのある人もない人も互いに支え合い、皆同じように生活する権利があるという

「ノーマライゼーション」の考えはデンマークで生まれました。

デンマークの生活で見えてきた、心理的安全性から生まれる創造性(自分らしさ)を大切に、

道具・環境・コミュニケーションを軸にデザインをしている宮田さんをお迎えし、

ケアのためのデザインについてのお話と、ダイアログ(対話)の実践ワークショップを行います。

福祉、教育、デザインそしてすべての人々に必要な視点を得られる機会となると思います。

みなさまどうぞご参加ください。



## 2024/6/8 sat

講師 宮田尚幸 風と地と木合同会社 代表  
デザイナー

会場 東川町複合交流施設 **せんとびゅあ** I

参加無料 先着順/事前申込制

1

講演会(講堂) 13:00~14:30 定員100名

2

ダイアログ・ワークショップ  
(コミュニティホール)

14:45~17:00 定員20名

テーマ1(20分×2回)/休憩/テーマ2(20分×2回)

講演会のみ、ワークショップのみ、両方、いずれかでお申し込みできます

## Design for Care

創造性のために必要なケアの視点

ダイアログ・ワークショップ

### Dialogrum / ダイアログラム

日常の中にダイアログ(対話)を取り入れよう

デンマークでは、小学校からコミュニケーションの一つとして、ダイアログが教育に取り入れられています。安心して話せることで、その人らしさが出てくるのです。北欧では体系だった手法があり、家族や街づくり、企業の問題解決に日々使われています。私が開いている場は、漢方や筋トレのように、続けていると知らない間に効果があるような、日常にある基本的なダイアログのワークショップです。今回は、デザインスクールに集まる方々とダイアログを体験してみたいと思います。いくつかのテーマ(当日発表)について、グループで話します。日常の中にダイアログを取り入れることで、身の回りの人たちとの心地良い関係性を築くお手伝いができればと思います。



講師プロフィール

宮田尚幸

風と地と木 合同会社 代表  
デザイナー

文具、服飾小物の開発デザインを経て、北欧デンマークでの生活から見えてきた「Design for Care」をコンセプトに、道具・環境・コミュニケーションの視点から心理的安全性の探究とデザインを行う。2021年に、風と地と木 合同会社を設立。各種デザイン、ダイアログワークショップを提供しながら、人に生きる力を与える美しさをもつ、デンマーク生まれのカスタムメイド杖ブランド Vilhelm Hertz Japan (ヴィルヘルム・ハーツ・ジャパン)の運営、マイノリティの方でも心地よく過ごせるデンマークデザイン・性能の建築 Njordrum Care (ニョードルム・ケア)の日本窓口、対話会 huset (フセツ)を主催。Vilhelm Hertz Japanの事業が2022年 GOOD DESIGN AWARD 金賞受賞、2024年 German Design Award Winner。

### 申込方法は3通り

① MAIL [designschool.higashikawa@gmail.com](mailto:designschool.higashikawa@gmail.com)

② TEL 0166-82-4245 (平日9:00~17:00)

③ QRコード



主催 写真文化首都 写真の町 東川町

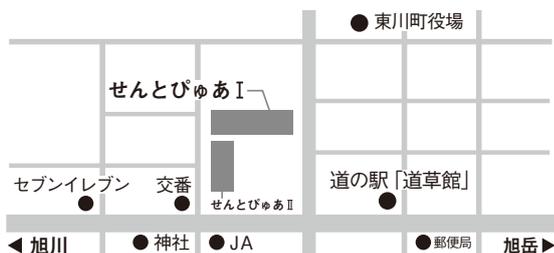
コーディネーター 織田 憲嗣氏 (椅子研究家、東海大学名誉教授)

お問合せ 東川町複合交流施設せんとぴゅあ TEL 0166-82-2111 (内線 764)

MAIL = [designschool.higashikawa@gmail.com](mailto:designschool.higashikawa@gmail.com)

デザインは暮らしを作り、ていねいな暮らしは、良いデザインを生み出す  
東川町デザインスクールとは

様々な角度からデザインやものづくり、暮らしについての講演やワークショップを開催しています。豊かさについて考える学びの場です。



東川町複合交流施設 **せんとぴゅあ**  
〒071-1426 北海道上川郡東川町北町1丁目1番1号